

不快害虫駆除剤

ユスリカ幼虫対策の新兵器！

ハイカプシン[®] 粒剤

有効成分 ピレスロイド^{トウ}様新殺虫剤

特長 少量で不快害虫に効果があります。特にユスリカ幼虫に対して速効的効果あります。

使用方法

適用不快害虫	適用場所	散布方法	使用量
ユスリカ幼虫	水溜、側溝、下水溝、汚れた小河川等	均一散布	5~10g/m ³
アリ、ダンゴムシ、ワラジムシ等	公園、宅地、駐車場、道路等	均一散布	10~20g/m ²

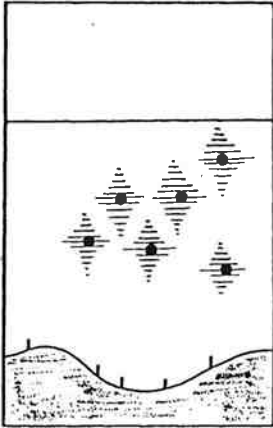
※ユスリカ幼虫に対して、水の流れが比較的早いところでは、12~20g/m³散布して下さい。

ユスリカ幼虫対策のQ&A

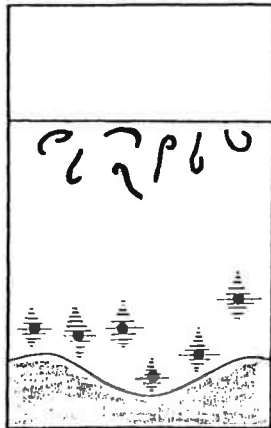
●ハイカプシン粒剤は、何故ユスリカ幼虫駆除に適するのか？

- ポイント① 微量ですばやく効果を発揮→散布してすぐに駆除できるので使用満足感が得られます。
- ポイント② 確実に駆除できる→水中下で有効成分が放出され、ユスリカ幼虫に接触して効果を発揮します。
- ポイント③ 魚毒性が低い→小川などに生息する魚介類に影響がありません。
- ポイント④ 環境汚染が少ない→有効成分は、水中下で約1カ月かかり、光及び微生物により分解されます。

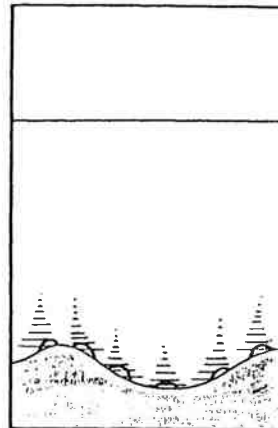
●ハイカプシン粒剤は水中で、どのように効力を発揮するのか？



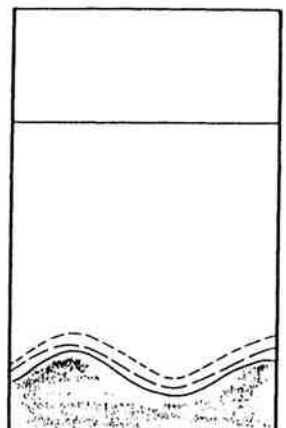
水中に散布すると、有効成分の20~30%が、すみやかに放出します。



散布直後より、水中の泥の中に生息しているユスリカ幼虫が弱まって水面に浮上し、流出が急速に始まります。1時間以内で、駆除できます。



残りの有効成分は、約10~20日にわたり、連続して徐々に放出するので長期間、ユスリカの発生を防止できます。



放出された有効成分は泥などの堆積物に吸着され、そこから徐々に放出することによって効力を持続します。

●ハイカプシン粒剤の毒性は？

人畜及び水棲生物に対して、低毒性の薬剤であります。

原体の急性経口毒性(LD₅₀値)

マウス >100,000mg/kg ラット >40,000mg/kg

原体の魚毒性(TLm値)

コイ稚魚 5ppm、タマミジンコ 210ppm

●ユスリカ幼虫に対する効力試験 (下水処理場での実地試験)

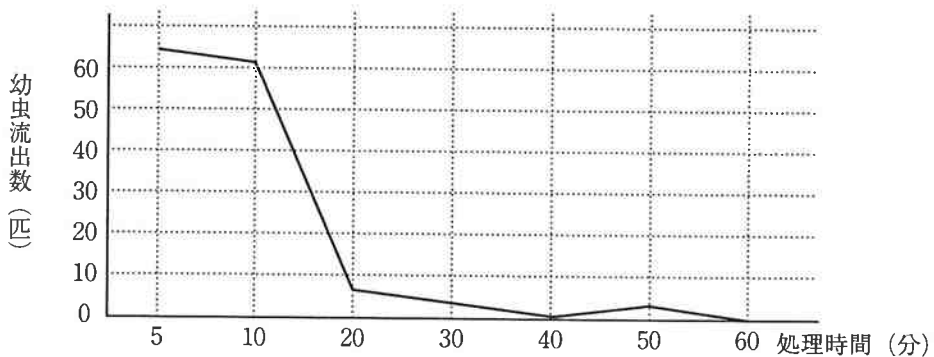
(処理水量) 1時間当たり平均500トン ※水の流れは早い。

(対照害虫) セスジユスリカ幼虫

(供試剤の処理条件) 有効成分濃度0.3ppm/1時間数量1トン

(粒剤10kgを一度に処理した。)

(試験結果)



※流水の表面を流れる幼虫を一定の方法で、すくい取った数。(2回の平均)

※試験後、1カ月後まで成虫の発生は認められていない。

(考察) ハイカプシン粒剤は、非常に速効性の高い製剤であります。